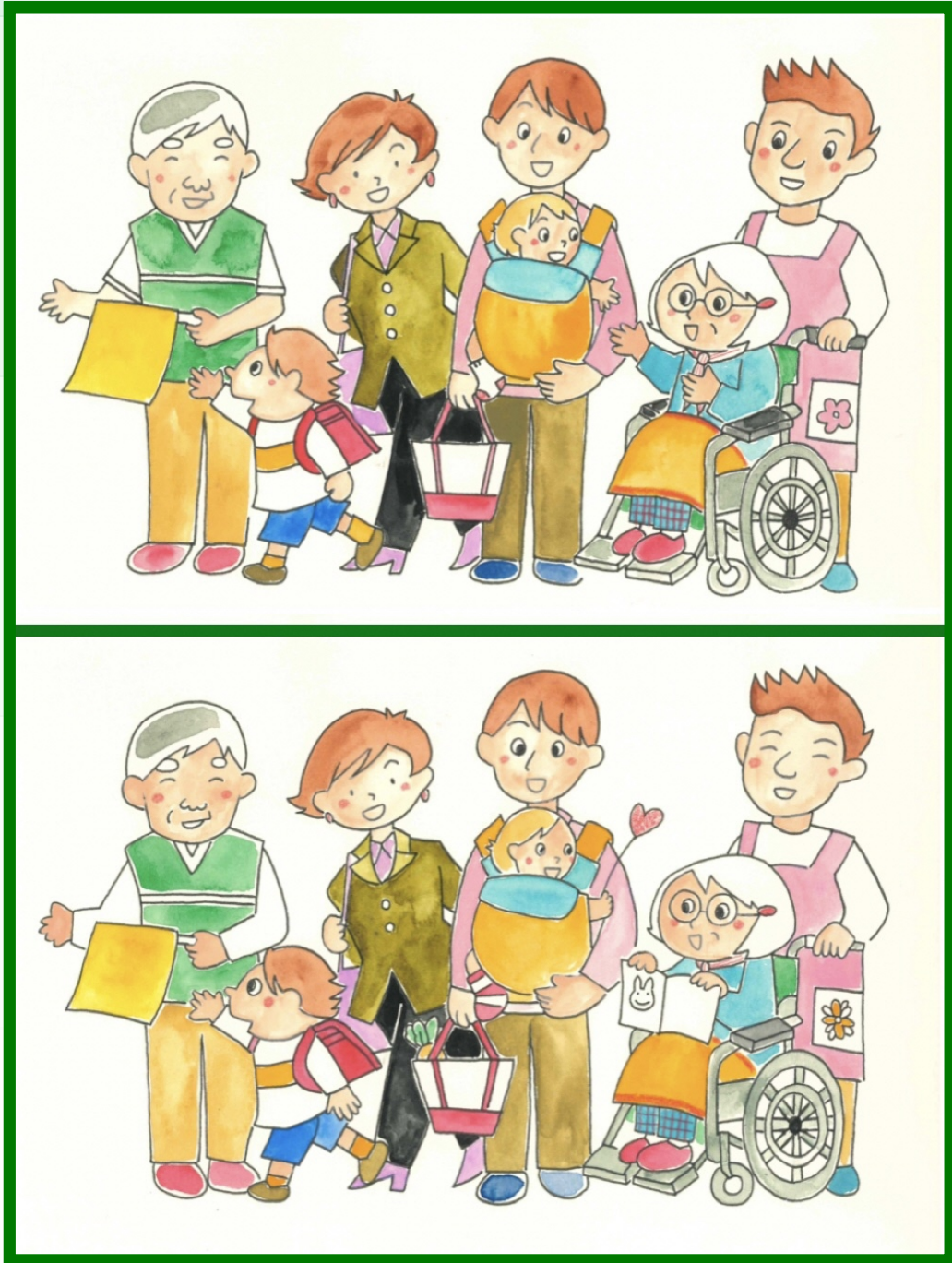


ゆい 結 ながれやま

まちがいが11個あります



探してみよう！

※色の違いはまちがいに含みません。

男女共同参画を啓発する『結』です。
結とは・・・昔、農村の人々は手を貸しあうことを「結」と呼びました。また友達や友愛を意味する言葉でもあります。

「児童虐待防止のオレンジ、女性への暴力根絶の紫など、それぞれのシンボルカラーを取り入れ、配色にもこだわりました。お互いを尊重しあえる社会の実現への想いを込めました。」
(イラスト作成：三條編集員)



私らしく あなたらしく

vol.20
2022.3

流山でがんばる人 見つけた！

家族で挑戦！ 流山発のクラフトビールへ向けて

入江農園 入江 匠(いいえ たくみ)さん



実家は三重県の伊勢神宮で林業に関わっているという入江さんは、東京で農業経営学を学び、ビールの製造業に従事した後、縁あって流山市民になりました。シイタケ菌床栽培の草分け的存在である入江農園で、三世同居の暮らしを送りつつ、大好きなビール造りに挑戦しています。

クラフトビールを造りたいと思ったきっかけは？

私は、林業に関わっていた父親の姿から、自然を大切にすることを育みました。森や緑を守るには、住んでいる人が能動的になることが大切です。そんな自然への思いと前職の経験から、森も豊かな流山という地域に根付く、クラフトビール造りを発想しました。

「のろし醸造」という名称で狼のロゴなのですね。

ビール製造の主原料であるホップは、ラテン語でオオカミという意味もあるそうです(諸説あり)。また現代の乱開発への警鐘という意味も込めています。流山の森も簡単には失われてほしくないですね。

クラフトビールの製造のスケジュールは？

あくまで予定ですが、まずは醸造所を建てます。早くて11月に完成させられれば、その3週間後に第1回目の製品の完成が見込めそうです。1回の醸造でできる量によって利益率が異なるので、初期投資もかなり必要になってきますね。

お子さんやご家族との過ごし方を聞かせてください。

子どもと一緒に過ごしたくて農業を選んだとも言えるので、子どもの成長を近くで見られるのはうれしいです。家事の分担も役割は決めず、気づいた人がやる。生活と仕事と同じ空間で、常に家族と一緒にですから、

互いにできることを進んで行っています。家族とはわかり合っていたいので、思っていることは言葉にします。伝えることをあきらめちゃダメですね。

一人になりたい時もあるのでは。

事務所で作業する時間は一人です。今はシイタケの栽培データを数値化して、これまでのノウハウの見える化とリスク管理を図り、家族みんなが扱えるしくみに改善中です。目標実現には家族の協力が必要不可欠なので、こういう作業も夢につながっていると実感しています。

シイタケ生産と販売への情熱も熱いですね。

もちろんです。菌床を使用した生シイタケを年間通して生産しています。新鮮なシイタケを地産地消で食べていただくために頑張っています。ホームページやSNSを検索してください。

大畔の森から、自然への思いとクラフトビール造りを込めた狼煙(のろし)を応援していきましょう。



パラスクール2021 ～リモート時代のパパ学～

令和3年12月4日(土)、生涯学習センター(流山エルズ)にリモートワークで働くパパたちが集まりました。

講師はNPO法人ファザーリング・ジャパン理事の村上誠さん。働く環境を大きく変えたリモートワークは、家族との時間を増やす一方、さまざまな課題も浮き彫りにしました。家族とのコミュニケーションや居場所づくり、家事分担のヒントについてお話いただきました。グループトークは、時間いっぱいまで会話が弾み、「普段話す機会のないパパ同士の交流は学びがあった」などの感想が寄せられました。



表紙まちがい探しの答え

- ①ランドセルを背負った子どもの手が開いている
- ②赤ちゃんの髪の毛の分け目
- ③赤ちゃんがハートのおもちゃを持っている
- ④赤ちゃんの靴下
- ⑤かばんの中の野菜
- ⑥車いすの女性が持つ絵本
- ⑦エプロンを付けた男性の表情
- ⑧エプロンの花の形
- ⑨女性のスーツのボタンの数
- ⑩一番左側の男性の足の向き
- ⑪一番左側の男性の袖の長さ

誰もが自分らしくいられる 豊かな場所づくりを目指して



コロナ禍でのステイホームやリモートワークの中で、家庭や職場、学校以外の居場所の必要性を改めて感じた方も多いのではないのでしょうか。「楽しい」を大切に、子どもも大人ものびやかにいられる「居場所づくり」に取り組むお二人に話をいただきました。

英会話教室を通して子どもをアシスト

英会話教室運営 岩佐 康予(いわさ やすよ) さん



教員免許と英語関係の資格を活かし、家族の協力のもと、10年ほど前に英会話教室を始めました。スタートして2年ほど経った頃、特別な配慮を必要とするお子様を持つ保護者から「息子を通わせたい」と相談がありました。体験レッスンの様子から問題ないと判断して受け入れましたが、ある日のグループレッスンで、じゃんけんに負けたことをきっかけに、教室の隅で1時間泣き通しにさせてしまいました。

この事を知人に話すと、「学童で多くの子どもたちと接してみたら」と一言。そこで、学童指導員にトライ。子どもたちと関わって、意識はガラリと変わりました。様々な個性を持つ子どもたち、一人ひとりの違いに向き合えた指導員経験は、今、私が子どもたちと接する上で大切にしている基盤となっていると思います。

私の根っこにあるのはいつも、「子どもたちとの関わりが楽しい」ということ。教室は経営でもあるのですが、生徒をたくさん呼び込むよりも、今通っている子どもたち一人ひとりと大切に関わっていきたい。子どもが能力を発揮できるような場所、マイナスのことからも気づ

きが得られるような環境をつくり、子どもたちと私は、一人の人間として対等でありたいと思います。子どもたちには「自分らしく、いていいよ」と語りかけたい。大人でも言われた言葉ですよ。

5年ほど前からは、教室運営以外にも多くの市民活動に携わらせていただき、中には女性が10年以上も在籍していなかった組織にも飛び込みました。自分が入ることで、他の女性など多様な方々が参加しやすくなればと思ったからです。

流山は、才能・可能性に溢れる方々がたくさんいると感じており、最初の一步を踏み出せば人と繋がりがやすい街です。私は家族の協力や環境があって今やりたいことができています。本当に感謝しかありません。これからも英語教育をしながら子どもたちと寄り添い、子どもたちの「育ち」を見守り、可能性を広げられるお手伝いができればうれしいです。また、自分自身の可能性として学校教育にも関わる取り組みも始めました。さらに英語の楽しさを広めていきたいです。

みどりを守り、みどりを楽しみたい

Social Green Projects in NAGAREYAMA

代表 伊藤 奈未(いとう なみ) さん



「流山のみどりを守りたい」との思いから団体を立ち上げ、第16回マニフェスト大賞の政策提言部門の優秀賞を受賞しました。きっかけは、仕事と個人でやりたいことのギャップを感じていた会社員時代に、「自然とSDGs」がテーマのイベントに個人で出展したこと。私が願う流山の未来を動画にして発表しました。

それまでも、市内を散歩して撮影した写真を『みどりのさんぽマスター』としてSNSで投稿していました。さらにSNSで仲間を募って『みどりの作戦会議』を実施し、市内各所のみどりのある風景を楽しみながら散歩する活動が始まりました。これが発展したのが『Social Green Projects in NAGAREYAMA』です。歩き慣れた道でも、仲間が思いがけない発見をしてくれたりするのが楽しいです。

今後も、流山のみどりが好き、守りたいという気持ちを大切に、何ができるかを探っていきたいです。最近の企画では、自分で手作りした椅子を公園に持参し、

みどりに触れる時間を楽しむ「マイチェアづくり」と、「チェアリング」も好評です。

こうした活動を通して、その人の家族構成などに関係なく一人の人間として付き合える、挨拶だけでも交流できる、一人でも仲間同士でも関われる、そんな豊かな場所ができれば素敵です。

生活を共にする夫は基本的には団体とは無関係なので、悩みを話せない寂しさを感じる時もありました。ただ、一緒に活動しないからこそ、彼との「純粋なプライベート空間」が休まる場所にもなっています。家事はできる時にできる人がやり、性別役割分業を意識したことはありません。肩肘はらず、お互いを尊重し合えるプライベートの時間が、私の活動の力になっていますね。彼が珈琲豆を挽いて淹れてくれるコーヒーが大好きです。



コロナ下の「学び」のススメ



新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外出機会が減る一方、自宅時間を有効に使おうと「学び」が注目されています。新たな生活様式の中で、男女共同参画についても改めて学び、考えてみませんか？

千葉県男女共同参画地域推進員事業

＜なぜ日本のジェンダーギャップ指数は120位なのか？＞

令和3年9月25日にZoom開催された講演会では、朝日新聞社編集局長補佐・岡本峰子さんを講師に迎え、「朝日新聞社ジェンダー平等宣言」を掲げる社の取り組みも交え、日本のジェンダーギャップ指数の低さの現状について考えました。日本は特に経済と政治分野の順位が低く、各国が加速させるジェンダー平等の取り組みに遅れを取っています。同社は記事で取り上げる人物や、会議登壇者と管理職の女性割合とともに、男性の育休取得率も指標に掲げています。女性の問題は「男性の問題」でもあり、男女が共に生きやすい社会を考える必要があります。

ジェンダーギャップ指数って、何？

世界経済フォーラムが発表する「経済」「政治」「教育」「健康」の4つの分野のデータから各国の男女格差を示す指数。令和3年3月公表のスコアで日本は156カ国中120位。先進国では最低レベル、アジア諸国の中でも低い水準です。



編集員おすすめ図書

認知症の私から見える社会

著：丹野智文（講談社+α新書）



認知症の当事者が、認知症と診断された途端に家族や周りの人の対応が激変した体験と本音を語った本。認知症でもできることはたくさんある。偏見をなくし共に生きる社会を考えよう！

ぜんぶ運命だったんかいーおじさん社会と女子の一生ー

著：笛美（亜紀書房）



日本の根強い男社会の中で戦い続ける総合職の女性が実感するジェンダー。インターンで行った、F国の居心地のよさはなぜ日本にはないのか？フェミニズムの視点から日本の現在地が見える本。

パリのすてきなおじさん

著：金井真紀・広岡裕兒（柏書房）



フランスは移民の多い多様性の国であり、ジェンダーギャップ指数は16位。日本の文筆家が、パリの街を歩き回り、人生を楽しんでいるおじさんに話を聞く。パリジャンが教えてくれる人生で大切なこと。

一生学びを！「流山manabiラボ」

里中編集員が個人で開催しているワークショップ。「学び」への想いを聞きました。

令和3年8月、2日間にわたり「流山、森の林間学校」と題して救急法・俳句教室・美術ワークショップなど、親子で学べる講座を開催しました。学びを通して社会と関われる場所を作りたいと、企画から開催、当日の運営まで個人で頑張っています。目指しているのは、学力だけでなく「生き抜く力を育てる」場所づくり。今後も、定期的に関催予定です！

女性の生き方相談 ～ひとりで悩まずお気軽にご相談ください～

相談方法：電話相談・面談相談 ※要予約

相談場所：市役所市民相談室

相談時間：第1・第2・第3・第4金曜日（祝日・年末年始を除く）
10:00～16:00 1回50分

予約方法：流山市男女共同参画室に電話または窓口でご予約ください。

予約・問い合わせ：04(7150)6091

編集後記

（上段左から）

- ◆ 結が関わるイベントでピタゴラ出展するなど関わらせてもらってます！（玉置亮達）
- ◆ 男女共同参画が一人でも多く伝わるよう尽力しています。手にとって興味を抱いていただけたらうれしいです！（大久保颯子）
- ◆ 今年は編集員が増え、いろんな意見を聞きながら作ることができ大変良かったと思います。（柳橋和郎）
- ◆ メンバーが増えてきて、意見が活発に交わされています。男女共同参画のあるべき姿が、ここにあると思っています。（三條栄子）



結ながれやまvol.20
編集員

（下段左から）

- ◆ 関わる事で考えるきっかけができ、たくさんの学びに繋がり、自身でも大きく一歩を踏み出せました。たくさんの方に知ってもらいたいです。（大石智美）
- ◆ 男女共同参画について様々な視点から考えることができました。これからも学び、発信していきたいです。（三井優花）
- ◆ 編集に参加させていただき、「気づき」を大切にしたいと感じています。ありがとうございました。（小竹和美）
- ◆ 予想以上の出会いと学びがあり、あとどう活用するかは自分次第と思います。（里中尚子）

男女共同参画社会をめざす情報紙 結ながれやまvol.20

企画編集：結ながれやま市民編集員
事務局：流山市総合政策部企画政策課男女共同参画室
※市民編集員を募集しています。関心のある方は事務局までご連絡ください。

〒270-0192 流山市平和台1-1-1
TEL 04(7150)6064
FAX 04(7150)0111
Email: danjokyoudou@city.nagareyama.chiba.jp

※記事に関するご意見、ご感想をお待ちしております。



バックナンバーはこちらの二次元コードから御覧いただけます。または事務局窓口でもお配りしています。